

令和4(2022)年2月

士別市長 渡辺英次

「市長への手紙」の回答について

拝啓

立春の候 日頃より市政の推進に深いご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、先日の「市長への手紙」で、市立病院に呼吸器専門医を希望される貴重なご意見をいただきました。

現在、市立病院には医師11名が勤務しておりますが、呼吸器医師は平成22年度末以降不在となっております。

以前は、医学部を卒業後、殆どの医師が大学医局に所属し地方の病院に派遣されていましたが、平成16年の「新医師臨床研修制度」開始に伴い、医師が研修先を自由に選択できることとなりました。

この結果、都市部の大規模民間病院に医師が集中し、大学病院自体が医師不足となるなど関連病院に派遣する余裕が無くなり、地方にとって厳しい医師不足・医師偏在化が続いています。

こうしたことから市立病院では、市独自の修学資金貸付制度の活用や積極的な勧誘活動を行い消化器内科医師や外科医師の確保に努めてきました。

しかし、全道的に医師不足・偏在化が解消されない中で地域医療を守るためには、上川北部のセンター病院である名寄市立総合病院が高度急性期医療を充実し、士別市立病院は救急と外来体制を維持しながら回復期・慢性期医療を充実させるなど、連携及び機能分化が重要と考えています。

現在、名寄には呼吸器医師が複数名配置されており士別市内には市の開業医誘致条例による呼吸器専門のクリニックがあり、市立病院と患者紹介や呼吸器疾患の診断依頼など連携体制を築いています。

ご意見にありました「呼吸器」だけでなく「産科・小児科」の充実についても多くの市民の方が望まれていることは充分理解しており、今後さらに国・道、大学医局に対して医師不足・偏在の解消などについて要望して参ります。

ご家族の一日も早いご回復と皆様のご健勝を心から祈念申し上げますとともに、地域医療の現状についてご理解頂きますようお願い申し上げ、「市長への手紙」の回答といたします。

敬 具

・担当課

市立病院経営管理部総務課

士別市東11条5丁目 電話23-2166(直通)

・広聴担当課

市民自治部自治環境課

士別市東6条4丁目 電話26-7736(直通)